

日時・場所	令和4年10月24日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、佐野副市長、西村教育長、遠藤議会事務局長、赤坂政策調整部長、川端総務部長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、布施健康福祉部政策監、武内病院事務部長、三上都市建設部長、吉川環境経済部長、馬野教育部長、事務局

1. 開会

【市長挨拶】

- 昨日から各学区の行政懇談会が始まった。参加いただいた幹部の皆さんに感謝申し上げます。次回以降もよろしく願います。
- 先週は市内の小学校、保育園、幼稚園を訪問し、要望や課題など現場の声を聞かせていただいた。

2. 議題

【審議事項】

①組織・機構の改編について

市民サービスセンター（北部合同庁舎）を廃止し、センター業務のうち、市民活動支援業務については市民部協働推進課に（仮称）市民活動支援室を新たに設ける。

②野洲市市民サービスセンター条例を廃止する条例について

令和5年3月31日を以て市民サービスセンターを廃止することに伴い、本条例を廃止する。

【報告事項】

③野洲市中期財政見通しについて

令和4年度野洲市中期財政見通しを策定したので報告する。歳入においては、国・県の補助金や地方交付税措置の有利な市債の活用により一般財源の負担を減らすこと、歳出においては、経営的な視点で業務や施設の現状把握と課題整理を的確に行い、市民のため、まちのために必要な事業として改善や再構築（スクラップ・アンド・ビルド）を念頭に、行財政改革の取組を着実に進めていき、健全な財政運営に取り組んでいく。

→歳入・歳出の見込みで、繰入金と積立金の考え方を説明いただきたい。

→寄附金を低めに見込んだ上で、早く事業に充当し効果を出すため、一旦積んでそれを取り崩し繰り入れて使う、という考え方である。

→令和3年度の扶助費が約52億で令和4年度が約46億円と6億ほど下がっているがその理由は、

→新型コロナウイルス対策交付金の影響が大きい。

→地方債残高について、社会資本整備を更新するなど良好な環境整備を行うことで一定の率で残高が推移することは必然と考える。そこで、投資的経費だが、今回の財政見通しには何が盛り込まれているのか、予定はしているが盛り込んでいない事業は何かを明らかにして市民に分かりやすい内容にすべきと考える。

→全員協議会では、補足説明させていただく。

- まちづくり基金について、残高を記載するだけでなく、積立てた目的など資料の見せ方を工夫されてはどうか。
- 今後の見通しとして歳入で都市計画税に触れているのであれば、歳出でも説明が必要ではないか。
 - いただいた意見を参考に検討する。

④令和4年第6回野洲市議会臨時会提出議案について

令和4年第6回野洲市議会臨時会において、専決処分を2件、補正予算を1件、人事案件を5件提出する。

⑤野洲市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員の定年の引上げ及びこれに伴う地方公務員法の一部を改正する法律による制度改正により必要となる条例の所要の改正を行う。

具体的な運用については、該当する職員を対象に1月から3月にかけて説明会を開催させていただく。

- 該当する職員だけではなく、全職員に情報を共有いただきたい。

→説明会で使用する資料をインフォメーションに掲載する。質問等は人事課で個別に対応する。

⑥新型コロナワクチン接種状況等について

新型コロナワクチンの対象者が拡大され、生後6か月～4歳の者への接種が可能になり、また、12歳以上の市民を対象としたオミクロン株対応の集団接種を開始したので、現況を報告する。

3. 次回部長会議の予定

10月31日(月)9時00分～ 庁議室

4. 閉会